

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：

使用教科書：（改訂版 家庭基礎 持続可能な未来をつくる 第一学習社・改訂版家庭基礎 教科書準拠 学）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むための知識と技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会の中で論理的に表現するなどして、現代社会の課題を解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画し自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解し、関係する技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 ①青年期の自立 ・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・ライフステージごとの特徴、課題を理解する。 ・青年期の課題である男女平等と協力について理解している。 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	【知識・技能】人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、自らの考えを表現することができる。 【思考・判断・表現】ワークシートに自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	6
	②家族・家庭 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	・「家族」の条件を考え、定義が変わってきている現実を知ること。 ・家事分担について考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。	【知識・技能】結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、グループ学習をと通して考えをまとめ、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどう関わっているのか、興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	6
	③子どもの生活と保育 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解し自分を振り返る。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人との関わり合いのなかで発達し	・子どものころを振り返ること、基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の身につけ方を学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び子どもと関わるようにする。	【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活について知識を身につけている。 【思考・判断・表現】子どもの発達や生活に興味・関心を持とうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	8
	④高齢者の生活と福祉 ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 ・高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善方法を考える。 定期考査	・高齢者についてのイメージをまとめる。 ・高齢者の生活場面を体験する。 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。	【知識・技能】高齢者の身体的特徴と心理的特徴について理解する。 【思考・判断・表現】高齢者と接する上で気をつけることを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動への関心を持って調査しようとしている。	○	○	○	5
2 学 期	B 衣生活と健康 ①被服実習（お弁当袋製作）を通して基礎的な縫製技術を身につける。 ②洗濯の仕方・繊維の特徴・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。	・様々な基礎縫いを実習すること、持続可能な衣生活を意識すること。 近年、手作業が減ってきている中で、自分の持つ能力を伸ばし集中力を身に付ける。 ・繊維の特徴を知り、適切な衣類の選択や保管ができるようにする。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づき、日本の現実も知る。	【知識・技能】材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得する。基礎縫いの縫製技術を身につけて、日常着の管理ができる。 【思考・判断・表現】衣服の用途に合わせて、適切な衣服素材を考えて判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】被服製作の実習や、衣服調査を積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	D 食生活と健康 ①日本の食の現状 ・日本の食文化の特徴を理解する。 ・輸入に頼り、フードロスの現実を知る。	・食生活の問題点に気づき、日本の現実も知る。	【知識・技能】日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。食事の意義や役割、食生活を取りまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】自身の食生活や現在の				

